

平成22年度

主要施策の成果説明書

京都府後期高齢者医療広域連合

平成22年度における京都府後期高齢者医療広域連合の主要施策 の成果報告について

平成22年度京都府後期高齢者医療広域連合の主要施策について、報告いたします。

総括

京都府後期高齢者医療広域連合（以下「広域連合」という。）は、75歳以上の方及び一定の障害があると認定を受けた65歳以上75歳未満の方を対象とした後期高齢者医療制度の運営を行うため、府内全ての市町村で構成する特別地方公共団体として、平成19年2月1日に京都府知事の許可を受け設立されました。

後期高齢者医療制度施行3年目となる平成22年度は、昨年度と同様に市町村をはじめとする各種関係団体等と協力し本制度の推進を図りながら、広域連合議会において制度運営についてご審議をいただいた他、本制度の周知広報、給付等に係る事務を遅滞なく的確に処理するための電算処理システムの改修、人間ドック等長寿健康増進事業実施市町村への補助等を行いました。また、後期高齢者医療特別会計では、被保険者からの保険料、府内26市町村及び国、府からの負担金、若年層からの支援金等を財源に保険給付を実施しました。

一般会計

広域連合の平成22年度一般会計歳入歳出予算の最終補正後における予算総額は27億5,285万9千円でした。

歳入決算額は27億5,119万2,971円で予算に対し、99.9%、歳出決算額は26億6,673万3,417円で予算に対し、96.9%の執行となり歳入歳出の差引額は8,445万9,554円となりました。

この差引額のうち、4,300万円は財政調整基金に編入し、残額の4,145万9,554円は繰越金として平成23年度に繰り越します。

歳入

一般会計の歳入につきましては、広域連合を構成する市町村からの分賦金、国庫補助金（特別調整交付金、高齢者医療制度円滑導入臨時特例交付金等）、京都府補助金等で賄われており、分担金及び負担金（市町村からの分賦金）が7億1,995万8,000円、国庫支出金が17億5,187万6,277円、府支出金が1億792万6,069円、財産収入が75万5,006円、基金繰入金（財政調整基金及び後期高齢者医療制度臨時特例基金からの繰入金）が9,924万7,342円、繰越金が6,988万6,423円、諸収入が154万3,854円となっております。

（一般会計歳入）

（単位：円、%）

区 分	予算現額	調定額	収入済額	収入率	構成比
分担金及び負担金	719,958,000	719,958,000	719,958,000	100.0	26.2
国庫支出金	1,761,108,000	1,751,876,277	1,751,876,277	99.5	63.7
府支出金	109,838,000	107,926,069	107,926,069	98.3	3.9
財産収入	572,000	755,006	755,006	132.0	0.0
繰入金	90,000,000	99,247,342	99,247,342	110.3	3.6
繰越金	69,886,000	69,886,423	69,886,423	100.0	2.5
諸収入	1,497,000	1,543,854	1,543,854	103.1	0.1
合 計	2,752,859,000	2,751,192,971	2,751,192,971	99.9	100.0

歳 出

一般会計の歳出につきましては、議会費は、広域連合議員の報酬、費用弁償、議事録作成等の経費で92万6,777円の支出となっております。

総務費は、24億8,772万502円の支出となっております。項としまして総務管理費、選挙費、監査委員費を設定しており、総務管理費は、一般事務、電算処理システム運用業務、後期高齢者医療制度臨時特例基金積立金等に関する経費で24億8,762万3,528円の支出となっております。選挙費は、選挙管理委員の報酬、費用弁償の経費で3万5,753円の支出、監査委員費は、監査委員の報酬、費用弁償の経費で6万1,221円の支出となっております。

民生費は、後期高齢者医療特別会計へ繰り出す保険料不均一賦課の経費で1億7,808万6,138円の支出となっております。

(一般会計歳出)

(単位：円、%)

区 分	予算現額	支出済額	不用額	執行率	構成比
議会費	1,429,000	926,777	502,223	64.9	0.0
総務費	2,550,420,000	2,487,720,502	62,699,498	97.5	93.3
民生費	194,010,000	178,086,138	15,923,862	91.8	6.7
予備費	7,000,000	0	7,000,000	0.0	0.0
合 計	2,752,859,000	2,666,733,417	86,125,583	96.9	100.0

一般会計の歳出を性質別に見てみますと、人件費（議員及び正副広域連合長等の報酬・給与等）・補助費等（広域連合に派遣された職員の給与負担金、市町村への補助金、拠出金等）が2億8,631万7千円で構成比10.7%、物件費（京都府国民健康保険団体連合会への資格確認事務等委託経費、電算処理システムの運用業務経費、事務消耗品費等）が5億6,697万3千円で構成比21.3%、積立金（後期高齢者医療制度臨時特例基金及び財政調整基金への積立金）16億3,535万7千円で構成比61.3%、繰出金（後期高齢者医療特別会計に繰り出す保険料不均一賦課繰出金）が1億7,808万6千円で6.7%となっております。

自主財源と依存財源の構成

（単位：円、％）

区分	年度	平成22年度		平成21年度		増減額	対前年比
		決算額	構成比	決算額	構成比		
自主財源	分担金及び負担金	719,958,000	26.2	870,218,000	25.9	△150,260,000	82.7
	財産収入	755,006	0.0	88,928	0.0	666,078	849.0
	繰入金	99,247,342	3.6	20,284,655	0.6	78,962,687	489.3
	繰越金	69,886,423	2.5	205,914,489	6.1	△136,028,066	33.9
	諸収入	1,543,854	0.1	2,050,030	0.1	△506,176	75.3
	計	891,390,625	32.4	1,098,556,102	32.7	△207,165,477	81.1
依存財源	国庫支出金	1,751,876,277	63.7	2,113,623,087	62.8	△361,746,810	82.9
	府支出金	107,926,069	3.9	151,800,936	4.5	△43,874,867	71.1
	計	1,859,802,346	67.6	2,265,424,023	67.3	△405,621,677	82.1
合計		2,751,192,971	100.0	3,363,980,125	100.0	△612,787,154	81.8

後期高齢者医療特別会計

平成22年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出予算の最終補正後における予算総額は2,734億8,238万1千円でした。

歳入決算額は2,751億7,787万4,455円で予算に対し、100.6%、歳出決算額は2,693億9,073万1,151円で予算に対し、98.5%の執行となり、歳入歳出の差引額は57億8,714万3,304円となりました。

この差引額は繰越金として平成23年度に繰り越します。

歳入

後期高齢者医療特別会計の歳入につきましては、市町村からの保険料等負担金、国の療養給付費負担金、財政調整交付金、府の療養給付費負担金、社会保険診療報酬支払基金の後期高齢者交付金等で賄われており、市町村支出金が450億828万9,157円、国庫支出金が817億830万7,998円、府支出金が221億5,469万750円、支払基金交付金が1,114億171万6千円、特別高額医療費共同事業費交付金7,471万3,075円、繰入金16億9,944万5,436円、繰越金129億6,253万9,678円、諸収入1億6,817万2,361円となっております。

(後期高齢者医療特別会計歳入)

(単位：円、%)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	収入率	構成比
市町村支出金	44,665,674,000	45,008,289,157	45,008,289,157	100.8	16.4
国庫支出金	79,860,795,000	81,708,307,998	81,708,307,998	102.3	29.7
府支出金	21,591,148,000	22,154,690,750	22,154,690,750	102.6	8.0
支払基金交付金	112,542,831,000	111,401,716,000	111,401,716,000	99.0	40.5
特別高額医療費共同事業交付金	100,000,000	74,713,075	74,713,075	74.7	0.0
繰入金	1,741,033,000	1,699,445,436	1,699,445,436	97.6	0.6
繰越金	12,962,539,000	12,962,539,678	12,962,539,678	100.0	4.7
諸収入	18,361,000	168,172,361	168,172,361	915.9	0.1
合 計	273,482,381,000	275,177,874,455	275,177,874,455	100.6	100.0

歳 出

後期高齢者医療特別会計の歳出につきましては、保険給付費は、2,601億9,609万9,262円の支出となっております。項としまして、療養諸費、高額療養諸費、その他医療給付費を設定しており、療養諸費は療養給付費、訪問看護療養費、移送費、審査支払手数料の経費で2,477億454万2,144円の支出となっております。高額療養諸費は、高額療養費の経費で116億3,475万7,118円の支出、その他医療給付費は、葬祭費の経費で8億5,680万円の支出となっております。

府財政安定化基金拠出金は、1億5,913万6千円の支出、特別高額医療費共同事業拠出金は事業費拠出金、事務費拠出金を合わせて8,389万854円の支出となっております。

保健事業費は、市町村が行った健康診査の経費を補助するもので、1億9,200万円の支出、諸支出金は、国・府支出金等の返還金等を支出するもので、87億5,960万5,035円の支出となっております。

(後期高齢者医療特別会計歳出)

(単位：円、%)

区 分	予算現額	支出済額	不用額	執行率	構成比
保険給付費	261,392,970,000	260,196,099,262	1,196,870,738	99.5	96.6
府財政安定化基金拠出金	159,916,000	159,136,000	780,000	99.5	0.1
特別高額医療費共同事業拠出金	101,000,000	83,890,854	17,109,146	83.1	0.0
保健事業費	211,226,000	192,000,000	19,226,000	90.9	0.1
公債費	10,000,000	0	10,000,000	—	—
諸支出金	8,774,568,000	8,759,605,035	14,962,965	99.8	3.2
予備費	2,832,701,000	0	2,832,701,000	—	—
合 計	273,482,381,000	269,390,731,151	4,091,649,849	98.5	100.0